



南アルプス市立 白根飯野小学校 学校だより  
学校教育目標  
「郷土を愛し、たくましく生きぬく子ども」

3月① 卒業式特別号  
令和2年3月25日  
編集 校長 岡こすえ

[www.iino.m-alps.ed.jp/](http://www.iino.m-alps.ed.jp/) 白根飯野小学校学校ホームページにも毎月掲載しています

## 「46名の卒業生と教職員」とで行った卒業式

新型コロナウイルス感染症予防対策のため、臨時休業になってから3週間以上経ちました。保護者の皆様におかれましては、お仕事の調整をはじめとして、家庭で過ごす子どもたちの対応等で多くのご心配とご苦勞をおかけしていることと拝察いたします。そのような中、本校の教育に対し、ご理解とご協力をいただいていることに改めて感謝申し上げます。

学校現場である我々教職員にとっても、児童の顔が見えないもどかしさや、多くの不安や迷い等を感じながら今日まで過ごしてきました。このような中、先週の19日（木）に、度重なる予定変更を経て、卒業生と教職員だけで「第145回卒業証書授与式」を挙行政いたしました。

前日準備では、子どもたちにできるだけさみしい思いをさせないようにと、教職員全員で協力し、真心を込めて会場をつくりました。卒業生一人ひとりに証書を授与し、約1時間という短時間ではありましたが、生涯で忘れることのない感慨深い式となりました。



※ 令和元年度 第145回白根飯野小学校卒業証書授与式 2020.3.19 ※

## 式辞

四十六名の卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。今、皆さんに小学校の課程をやり遂げた証として、卒業証書を手渡しました。本校で過ごしたこの六年間は、ここにいる仲間やお世話になった先生方とともに多くのことを学び、体験を重ね、地域の方に見守られながら、心も体も大きく成長したことと思います。

みなさんとの出会いは、今からちょうど一年前。私は、白根巨摩中学校の教頭として卒業式に参列しました。今日とは対照的に、卒業生の保護者の皆様や南アルプス市教育委員会、地域の議員様など、多くの御来賓の方々をお迎えし、会場いっぱい多くの人が集い、卒業生の門出をお祝いしていました。そして、皆さんも在校生として、卒業する先輩への呼びかけや合唱など心のこもった温かな態度で卒業生を送り出してくれていました。

四月になり、皆さんとの学校生活が始まりました。

登校班の下級生を気遣い、何度も振り返りながら歩いていた6年生。

困って泣いている下級生に優しく声をかけてあげていた6年生。

運動会での演技や応援、係りの仕事などで大活躍だった6年生。

児童発表会での演奏やパフォーマンスでこの会場を湧かしてくれた6年生。

皆さんの六年生としての頑張りが次から次へと鮮明に浮かんでいきます。

総合的な学習の時間では、白根飯野小学校で皆さんが初めて「飯野にもあった戦争の話」に取り組んでくれました。その様子がテレビのニュースや新聞で報道されました。そこに映し出された皆さんの真剣な表情、純粋な眼差しに心をうたれ、「皆さんから希望をもらった気持ちになった。」と、かつての卒業生である地域の方から感激のお手紙を頂いたこともありました。終戦から七十四年が過ぎ、戦争を体験した方から直接お話を聴くことが難しくなっている今日では、大変貴重な経験となり、「戦争と平和」について自分の考え方の基礎をつくるとても大切なものとなりました。ステージのバック・ピクチャーに込められた皆さんの気持ちを、今後も後輩たちに伝えていくことを約束したいと思います。

「笑顔、協力、日本一」の合言葉で進めた児童会活動では、無言清掃やあいさつ運動なども真面目に取り組んでくれました。飯野小まつり、大運動会、ひかりボックスのお昼の放送、児童発表会、飯野小ザ・パーティー、ドッジボール選手権、長縄大会など、本部役員を中心に全校児童みんなが楽しめる様々な活動を工夫し、下級生をリードしてくれました。エネルギーな活動ばかりでなく、掃除の時間になると、にぎやかだった昼休みから一変し、誰もしゃべらずに自分で仕事を見つけながら黙々と掃除をする様は、中学生さながらでとても立派でした。

このように、皆さんのおかげで、これまでの伝統に加え、学校はさらに活気に満ち、進化し、楽しく充実した学校生活が送れました。本日参列できなかった下級生に代わって校長として学校を代表して皆さんにお礼を言いたいと思います。「本当にありがとう。」

今、日本で、そして世界中で多くの人々が新型コロナウイルスに苦しんでいます。安倍総理大臣は感染の拡大を防ぎ、何よりも子どもたちの安全と健康を守ることを第一に考え、全国一斉に臨時休校の措置を取りました。この為、皆さんや皆さんのご家族が心待ちにしていた一生に一度の小学校の卒業式がこのような形になってしまったことが残念でなりません。

しかし、皆さんは臨時休業になって気が付いたこともあるはずです。いつもは当たり前であると思っていた学校生活、担任の先生や友達と過ごす時間や絆の大切さなど「当たり前の日常への感謝の気持ち」をこれからも忘れないでほしいと思います。

私は昨年、巨摩中学校の離任式で、「飯野小学校から素晴らしい子ども達を中学校にお届けするので、一年後を楽しみに待っていてください。」と、全校生徒の前で約束してきました。その期待どおりに、それ以上に成長した皆さんは、私の誇りです。大好きです。本日参列することができなかった保護者の方をはじめ飯野小学校を応援してくださっている全て人たちが皆さんの成長を喜び、将来を楽しみにしています。どうか、そのことを忘れずに、さらに心豊かにたくましく成長して行ってください。

令和二年三月十九日

南アルプス市立白根飯野小学校 校長 岡 こそえ